



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」
 アジア会長主題 「100年を越えて変革しよう」
 東日本区理事主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 あずさ部部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」
 東京西クラブ会長主題 「わからないこと、言いたいことは、何でも声に出しましょう！」

2021年7月号

NO 538

見よ、兄弟がともに座っている。なんという恵み。なんという喜び。

詩編133編1節

新しい年が始まりました

会長・鳥越成代

2021年7月1日から、東京西ワイズメンズクラブも新年度を迎え、2年間、クラブを支えて下さった篠原文恵会長から、鳥越へバトンが渡されました。篠原会長も長引くコロナ感染下ご苦労が多かったのですが、現状も好転しているとは言え、世界中からまた、日本の隅々から毎日のように、死亡者数の報告がTVや新聞に、取り上げられる状況です。

ワクチン接種も全国民に行き渡ってはいないようです。

とは言え、歴代の会長、会員のご努力下、高齢化、少人数でも長く歴史をつなげております東京西クラブです。しっかり次の世代に引き継ぐ責任も感じてはおります。

今年度の会長主題は「わからないこと、言いたいことは、何でも声に出しましょう！問題点を皆で共有していきましょう！」としました。そのうえで、東京西クラ

ブの目指すこと、できることを話し合っていきたいのです。最も深刻な問題は新会員を得られないことです。

私たちは何故この組織に入っているのか、魅力は何か、問題点は？しっかり議論していきたいです。今後はZoom例会が増えると思います。でも例会で直接お会いできることの楽しさを今年経験させていただきました。

私たちのすぐそばに素晴らしいワイズの先達たちがいらっしゃいます。色々教えて頂けるよう若輩も基礎知識をもっと身につけなければいけないと反省もしております。

充実した一年になりますように、今年も皆で力を合わせ、元気に楽しく前進していきたいと思っております。皆さん、健康第一です！

早くコロナから解放されたいですね！



東日本区大会 パブリックビューイング

今年の東日本区大会は、6月12日(土)午後、リモート・オンライン形式で行われ、会場の湯村温泉郷・常盤ホテルには区役員、ホストクラブの甲府21クラブなど限られた人が集いました。当クラブは、せめて雰囲気だけでも分かち合いたいと、山手センター3F教室に有志が集まり、プロジェクター大画面で参加しました。各部や事業主任などの報告は各自宅からの発表。東京たんぽぽクラブの越智京子さんも会場に見え2年ぶりに3時間15分の東日本区大会を楽しむことができました。

(篠原文恵)

クラブ役員

会長 鳥越 成代
 副会長 吉田 明弘
 書記 本川 悦子
 会計 石井 元子
 担当主事 横山 弥利

6月の記録		ニ コ ニ コ ー 円	
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メ ネット 1人	クラブファンド	ー 円
出席者数 10人	コ メ ッ ト 0人	ファンド残高	113,308 円
メーカーシップ 0人	ビ ジ タ ー 0人	ホテ校ファンド	ー 円
出席率 100%	ゲ ス ト 0人	ホテ校残高	66,000 円
内 Zoom 参加 0人	出席者合計 12人	WHO 参加者	ー 人

7月例会のご案内

今月の強調テーマ キックオフ Change!

2021～2022 年度の活動が鳥越会長のもと始まります。例会には長谷川あや子あずさ部長をお迎えします。コロナの感染症の脅威の中ですが、皆様と笑顔で集うことができますように祈ります。

日時：7月15日(木) 18:45～20:00

会場：ウェルファーム杉並4F集会室

会費：1,500円

担当：A班 (大野・本川・村野)

HAPPY BIRTHDAY

16日 河原崎 和美 30日 山田 紀子

開会点鐘	鳥越成代会長
ワイズソング (黙唱)	一同
聖書朗読・祈祷	村野 絢子
開会挨拶・紹介	鳥越成代会長
会食	
新年度クラブ会長所信	会長 鳥越 成代
公式訪問部長挨拶	長谷川あや子あずさ部長
部長への質問・部長からの質問	
諸報告	鳥越会長
YMCA 報告	横山担当主事
ハッピーバースデー	
ニコニコ	一同
閉会点鐘	鳥越成代会長

- 6月例会報告 -

日時：6月17日(木)

18:45-20:00

会場：ウェルファーム杉並 4F

6月例会はコロナ感染拡大防止期間中ではありますが、リアルでしかも会食ありで行われました。

メインプログラムは、クラブ定期総会と、新年度クラブ役員就任式でした。一部継続審議を除き承認されました。

クラブ役員就任式は神谷幸男さんの司式のもとワイズメンズクラブ国際協会の式文に則って行われ、新役員が宣誓し、新旧会長のバッジ装着をもって、厳粛のうちに執り行われました。なお、次期クラブ役員その他担当者は下記の通り承認されました。

【クラブ役員】

会長：鳥越 成代

副会長：吉田 明弘

直前会長：篠原 文恵

書記：本川 悦子

会計：石井 元子

地域奉仕：神谷幸男・村野絢子

会員増強：

吉田明弘・河原崎和美

国際・交流：

神谷幸男 村野 絢子

ユース：高嶋美知子・大野貞次

監事：篠原文恵

【その他の担当者】

WHO 事務局：石井元子

ブリテン：編集担当：

大野貞次・神谷幸男・吉田明弘 (各月輪番)

校正：吉田明弘

配信：篠原文恵

印刷：大野貞次

送付：石井元子

ホテル学校ファンド：

村野絢子

新年度クラブ役員就任式は神谷幸男さんの司式のもと、ワイズメンズクラブ国際協会の役員就任式式文に則って、しかし一部簡略して行われ新役員が宣誓し、新旧会長のバッジ交換をもって厳粛のうちに執り行われました。

ニコニコタイムは、各人普段の閉塞感を吹き飛ばすかのように活発に楽しく語り、予定時刻を超過して終了しました。(神谷幸男)出席者：<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、横山、<メネット>神谷、<ゲスト、ビジター>なし

- 6月事務会報告 -

日時：6月24日(木)

17:00-18:45

会場：ウェルファーム杉並 4F

出席者：石井、河原崎、篠原、高嶋、本川、吉田

<会計報告>

別紙報告書通り承認した。

<報告事項>

東日本区大会はハイブリッド形式で行われたので、当クラブは山手センターのホテル学校の会議室などから ZOOM で参加した。

参加者：石井、大野、高嶋、鳥越、本川、吉田、篠原、越智京子さん(東京たんぼぼ)、関喜一郎さん(元石巻広域)

<協議事項-例会関係>

・7月例会 (A班) は長谷川あや子あずさ部長のクラブ訪問をお願いした。

・8月例会 (B班) 納涼例会だが、外の飲食は密になるのでウェルファームで行うことにした。

<その他>

・2021-2022 年度第1回評議会は7月17日(土) YMCA 山手センターにてハイブリッド形式で行われる。

・7月から例会場が会場側の都合で通常の部屋が変更になります。(書記・本川悦子)

区役員名簿

東日本区区報第1号が、7月1日 yscom.7935 で配信されました。常任役員、監事、事業主任、各部部長、委員会委員長、専任委員の今年度の抱負なども掲載されています。

区役員名簿をダウンロードして保存してください。

☆☆☆インタビュー☆☆☆85☆☆
森本 晴生さんに聴く
東京むかでクラブ



—私たちのクラブは、この7月が創立45年です。中野サンプラザで行ったチャーターナイトには、210人が集いましたが、現在も現役のビジターは、9人。そのお一人が森本さんです。

「そうでしたか。それは、おめでとうございます。当日は、自宅が中野にあったためだったか、パートナーと参加したことを覚えています」

—ワイズ入会は、何年ですか。

「1972年の千葉クラブのチャーターの時に、当時千葉に住んでいたの、東京むかでクラブの藤本博信さん(後に日本区理事)に勧められました。キャンプの経験が生かせるでしょうとのことでした」

「その後、東京の学校に務めるようになって1973年に東京YMCAの野尻学荘(キャンプ)OBの多い東京むかでクラブに転会しました。野尻学荘は、東京YMCAが戦前の1932年に長野県野尻湖で始めた長期少年キャンプです。当初は5週間でした。その後2週間以上となりました。そこで忘れ得ない経験をした少年たちが大学生、社会人となって、今度はリーダーとして安定して参加しました。その繋がりがあるので、藤本さんは27歳上ですが、あまり年齢差を意識しないのです」

—戦前の軍国教育の時代に5週間のキャンプなんて、どういう家庭の子どもが参加していたのですか。

「全人教育が言われた時代でもありましたが、『キャンプをする』というより、『一緒にいろんな生活を楽しんでいた』そうです。少年たちは従兄弟だったり、同じ中学だったり多少の繋がりもあったよ

うです」

—森本さんの家は。

「祖父が『太平洋の橋』を目指した新渡戸稲造に学び、卒業後、新渡戸を校長とする学校を創り、彼の没後校長になっていました。私は両親が外国で学んでいたため、責任ある言動をするように、他人と違っていても、それなりにちゃんとした生活をするように言われました。学荘の参加者とは、共通するものがあります。私なりに2週間一緒にいると、時間の配分がうまくなり、自分たちの生活ができるようになります」

—どんな子どもでしたか。

「子どもの頃は、玩具で遊んだり、木登りしたりしていました。組み立てゲームに熱中した時期がありました。まあ普通の小学生でした。小学校の夏季学校に3年から6年まで4回行きました。そこでは、YMCAのキャンプソングを歌いました。中学、高校では野尻学荘に6回参加しました。7、8人ずつが10キャビンに分かれたり食堂に集まったりして生活しました。ここでなんでも食べられる、どこでも寝られ、誰とも話せるようになりました。言ったことは、それなりに責任を持つことも学びました」

—大学は物理専攻とか。

「そうです。なんとなく、父の後を継ぐのかなと思っていて、学部4年と大学院2年、野尻学荘に6回、リーダーとして行って、キャンプソングをピアノで弾いたり、皿洗いの手伝いをしました。就活は特にしませんでした。知人から親の仕事の継ぐなら、他で働いてからが良いと助言され、物理出身者を探していた化学品メーカーに入社して3年ほどポリエチレンの分子の研究をしました。その後、祖父と父が働いた幼稚園から短大までである学園に入り、父に代わり事務と経営をして、学園名も新渡戸を冠して改称し、男女共学にしました。ここでも、4歳から20歳が校外施設を利用して、共同生

活、夏季学校をしました。キャンプソングの『新しい感激にいつも満ちた野尻よ』の一節を、ずっと思い続けています」

—「野尻キャンプ命」ですね。

「戦中に手放した野尻湖キャンプ場を戦後になってYMCAが買い戻そうとした時のYMCA会員の奮闘は語り草です。その中の有志が中心になって東京むかでクラブを立ち上げました。クラブ名は、野尻湖と山中湖のキャンプ場を寄付した小林弥太郎さんの店の屋号『百足屋(むかでや)』に由来しています」

—普通なら「東京のじりクラブ」ですよ。思いが伝わります。

「メンバーは学荘OBだけではありませんでしたが、野尻キャンプが木造で古くなったので、皆で募金をしてメインホール、シャワー室を鉄筋で建てました。カッターやヨットも新しくしました。若い人の活動力を高めるためYMCAを通じて寄付してきました」

—近年、東京むかでクラブは、新しい活動を取り組み、新しいクラブ展開を図られていますね。

「さまざまな状況の人が集って『ユニークダンス』(障がい者と健常者のダンス)を始めました。その後他のクラブでも行われています。社交ダンスで交流しています。今年の6月には、石巻広域クラブ、神戸ポートクラブで、トライアングルDBC(国内ブラザークラブ)を締結しました。個人的には、新渡戸の出身地に何度も行く機会があり、もりおかクラブの例会で、話をさせていただいたこともありました」

—森本さんは、ワイズ歴50年。日本区時代に区役員も務められました。今、思われることは。

「人々が集まると、その集会や集団が意図する方に動きます。自分の意図を変えること、進展させることが必要なことがあります。コロナ禍で出来なくなったこともあり、出来るようになったこともあり。よく考えて進展を！」

—有難うございました。(吉田明弘)

私の大切な人

村野絢子

和泉教会 2

教会学校は生徒の家庭との結びつきを強めるため「両親への手紙」「教会学校ニュース」を発行した。そのニュースで八木重吉の詩「1番良い仕事」信じることで、キリストの名を呼ぶこと、人を許し出来るかぎり愛すること、それを私の1番の仕事にしたいと書かれていた。

婦人会ではハンディキャップを負う人たちに対して、老人施設に石鹸やタオルを、児童施設には園児のガウンを縫いささやかな奉仕をした。バザー、修養会等、教会の活動が盛んになり、それに合わせて組織も整えられた。礼拝後、役員会などで教会にいるそれぞれの夫を待つ間、教会近くの赤池家で8(5+3)人の子どもたちが遊び、夫人・アネローゼと語り合い、過ごした。私がストックホルムの国際大

会に参加した後、ドイツのリューベックにアネローゼの母上をお訪ねしたのもよい思い出である。

アネローゼ・陽医師夫妻が亡くなった今も、ドイツに住む愛娘美香と和泉は良い友達。西湖に住む赤池義也さんと葉山の村野義哉は助け合っている。池谷さん、小峰さん、野上さん、植村さんと子どもが巣立った今も教会行事を楽しみながら励んでいる。

吉田進牧師が去られた後、中山月夫・哲子牧師夫妻は自主的に活動することを好まれ応援して下さいだったので、自由で開放的な(ユニークな?)教会となった。コロナの感染を恐れ、全ての活動休止で、大声で歌う「歌の広場」、皆でランチとスイーツを楽しむ「ティールームいずみ」の再開を望む声が聞こえてくる。ただ、共に101歳を迎える小野ご夫妻がお元気で輝いていらっしゃるのが嬉しいのですが、お顔が見られないのが何とも寂しい。

YMCA Today

■コロナ禍でホテル学校の年間スケジュールは様々なものが変更。その一つ「野尻湖スポーツ合宿」は2年生も1年生も今夏に実施予定。また、授業も今年は短期の特別講座が開かれ、「SDGs講座」ではホテル業界のフードロスをはじめとした各ホテルの取り組みを研究しています。その他「PR講座」では学校紹介30秒動画を制作、「和装講座」では和装文化に触れ、浴衣の着方も学びました。「リゾートホテル実習」は通常通り夏休みに行き希望者65人の学生が参加を予定しています。

■6月9日からサマースクール、6月23日からサマーキャンプの受付を開始。定員を減らし、スタッフ体制を手厚くして万全の感染対策の上プログラムを実施。また、コロナ禍の影響を含め経済的な理由でプログラムに参加が難しいご家庭を対象に、所得に応じて参加費を補助する「フレンドシップファンド」を積極的に活用する予定。

■6月の定時評議員会において、役員及び評議員の改選が決議されました。退任及び新任は下記の通り。退任：三谷高康氏(任期満

了により理事退任)、湯浅慶氏(逝去により評議員退任) 新任：石川理氏(理事)、草分俊一氏(評議員)。

■2020年7月に起きた熊本豪雨災害の被災者支援募金は、3月末までに950,928円が寄せられ、熊本YMCAと全国YMCAが協力して行っている被災者支援活動のために用いました。

また、コロナの影響を受ける青少年支援募金は、3月末までに2,799,583円が寄せられ、コロナ禍により困難な状況にある留学生、ユース、子どもたちを支援する活動のために用いました。

■今後の主な行事日程 【長崎原爆被災写真】パネル展 7月7~16日 会場：東陽町センター 【第35回インターナショナル・チャリティーラン】スマホアプリでのウォーキングイベントを10月開催 (担当主事 横山弥利)

編集後記

自然災害や新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらないなか、心に不安を感じながらの生活ですが、皆様には変わりなく過ごされていることと思います。例会では笑顔でお会いしたいと思います。

それにしても長雨による熱海で起きた山の崩壊、テレビに映し出された光景は見もよだつようなすさまじいものでしたね。多くの方々が被災され心が痛みます。熱海のクラブの方には被害がなかったのか心配しておりましたら、ワイズドットコムで報告があり、亡くなられた太田君男ワイズの奥様が安否不明とのこと、本当に大変なことが起きてしまいました。奥様の無事を祈るばかりです。今回の場所は盛り土された所とのこと、ある意味では人災に近いのではと心を痛めております。

皆様は、ワクチンの接種はお済みですか？ 私は7月15日が2回目になります。例会日に重なりましたが、新しい年度の例会ですので多少問題があっても頑張って出席いたします。

7月のブリテンも皆様からの寄稿によって発行できますこと、感謝いたします。これからの1年宜しく願いいたします。(O.T)

会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店
普通口座 8027928
東京西ワイズメンズクラブ